

中小企業ぎふ

Vol.664

2020年1月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

～中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します～



東濃ヒノキをふんだんに使った「東濃森林管理署」 施工:(株)加地工務店

クローズアップ企業 2~3

付知峡プレカット協同組合 組合員
「株式会社加地工務店」

～リニア中央新幹線で東濃に輝く未来を!～

組合紹介 4~5

岐阜県既製服縫製工業組合

夢のある業界を目指して～服づくりは楽しい!～

中央会の活動 6~10

- ・会長新春インタビュー
- ・理事会・役員交流会を開催
- ・法施行記念式典～岐阜県の表彰者紹介～
- ・官公需フォーラムを開催
- ・事業承継セミナーを開催
- ・組合女性事務局懇談会を開催

組合等の活動 11~12

- ・特集 助成金「組合等課題対応支援事業」取組事例紹介
- ・多治見・土岐・瑞浪で美濃焼新春見本市
- ・岐阜県婦人子供服(工組)新事業:介護施設で洋服販売
- ・(一社)岐阜和傘協会 岐阜和傘承継へ 協会設立

組合事務局キラキラ職員レター 13

- ・岐阜県日中友好技能実習協同組合連合会
- ・岐阜県電気工事業工業組合

組合士の問題に挑戦! 13

景況レポート 14~15

全国の先進組合事例 16

- ・石川県電器商業組合
- ・高島晒協業組合

インフォメーション 17

- ・新春 職員集合写真
- ・飛騨支所移転のお知らせ
- ・読者プレゼントコーナー
～アンケートに答えてプレゼントをもらおう!～
- ・中央会 職員コラム

年賀広告 18~22

クローズアップ企業

付知峡プレカット協同組合

中津川市の北部に位置する付知町は、古くから山林資源の豊富な地として知られています。付知町の木材は日本の代表的な建造物の用材として使用されており、姫路城や名古屋城、伊勢神宮の式年遷宮に必要な御用材などにこの地域の木材が重宝されてきました。江戸時代には幕府直轄の領地として良質なヒノキを提供していたという歴史もあります。

地域には木材に携わる方が多いほか、大工、左官、瓦、板金、塗装などの職人が多いことも特徴です。

今回は、このような付知の地で、一般住宅から大規模な施設の建築、土木工事、法面工事などを幅広く担い、地域を支える企業「加地工務店」を訪問し、付知峡プレカット協同組合の理事長も務める加地宣彦社長にお話を伺ってきました。

株式会社加地工務店

《企業概要》 住所：中津川市付知町6054番地
電話：0573-82-4131 FAX：0573-82-4388
代表：代表取締役 加地 宣彦
主な事業：建設事業・土木事業・法面事業



◎御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

◆ 大工の技術を元に鉄筋や土木など総合的に展開



加地社長

当社は大工職人として技術を磨いてきた父が1958年に創業しました。木造住宅の建築から、鉄骨（RC）も手掛けるようになり、さらに道路舗装などの土木工事、林道整備に必要な法面工事、上下水道工事など、公共工事の増加とともに成長してきました。特に法面工事については、モルタルを吹き付けて崩落を防止する工法の開発によりJVを立ち上げて特許を取得し、林野庁からの依頼で全国各地の施工を手掛けてきました。

私自身は、大学卒業後に名古屋の建設業者に勤めた後、25才で入社しました。地元に戻ってきてからは消防団や商工会の青年部の活動等に積極的に参加し、地域の方と交流の輪を広げてきました。2002年から社長に就任しています。

父の時代には高度成長期で公共事業を中心に数多くの構造物を造ってきましたが、今や公共工事はピーク時の3分の1以下になり、耐震や補修工事が増えてきました。現在は、建設業と土木業を主体に、法面工事や舗装を行うほか、除雪や凍結防止剤の散布などによる道路の整備も行っています。



道路工事



法面工事

◎御社の特徴や方針を教えてください。

◆ 木造建築の技術

広く建設・土木工事を手掛けていますが、その中でも特徴は、やはり木造建築の技術です。創業時より木材を用いた建築を手がける技術を培っています。木の取扱いや図面から木材を拾い出す作業などは長年の経験が必要であるため、木造建築に関して、同業他社や一級建築士事務所等が当社を頼ってこられることもあります。



施工を手掛けた付知峡倉屋温泉の内部

◆ 地域を大切に

付知に育ててもらっているという感謝の心を持ち、地域を大切にしています。これは先代から受け継いでいるものです。雇用や協力業者はなるべく地元からと心がけているほか、日頃から地域の祭やイベントに積極的に参加しています。岐阜県で全国育樹祭がおこなわれたときは、樹齢100年の丸太を県内各地に運ぶ台車の製作をしました。4年前の創立50周年記念事業では、地域の保育園・小学校・中学校、老人ホームへの寄付をしました。

また、地域との関わりを大切にする中で、災害時などの緊急事態にも対応できるよう、所属団体を通じて県や市と災害協定を締結しています。実は、警察や消防、自衛隊が活動するためには、まず地元の建設業者が最初に崩壊した道路の整備や倒木の除去などを行っています。こうした災害時における我々の活動についてメディアで取り上げられ



全国育樹祭

ることはないのですが、地域を支えているという自負と誇りを持ち、いざという時のための体制を整備しています。

組合概要

付知峡プレカッタ協同組合

理事長 加地宣彦(株式会社加地工務店)
中津川市付知町5949番地の1

組合員数: 14人

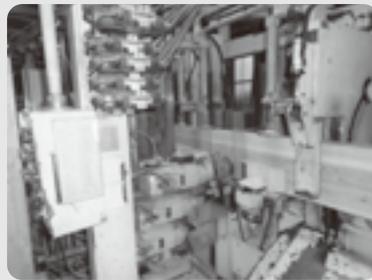
主な事業: 共同加工事業 等



付知町は、「東濃ひのき」の産地であり、ひのきを活用した健康で快適な「東濃ひのきの家」づくりを推進してきました。付知峡プレカッタ協同組合は、付知町の基幹産業の活性化のために町内の工務店や職人ら木材業者が一体となって平成6年に設立されました。

プレカッタの共同加工施設は、林業における機械化を推進する国策のもと、「国産材産地体制整備事業」を活用しました。

プレカッタとは、構造材の仕口などをあらかじめ機械化した工場で行う事です。それまでは、大工さんが木材をカットするのに30日かかっていたところが、この共同加工施設により、たった1日でできるようになりました。



建築現場での加工を減らす事で、工期の短縮、人件費の削減、加工精度の向上、建築中の騒音の削減、現場で出る廃材の削減などにつながっています。

昨今ではさらに大工仕事に従事する職人の数が減っており、プレカッタ無しで木造の建築をする事は難しく、特に着工件数の多い住宅会社にとっては必須となっています。

◎経営をしていく上で大切にしていることを教えてください。

◆ 第一は従業員とその家族を守ること

一番は、従業員とその家族を守ることです。

従業員には日頃から「ありがとう」と声をかけ、感謝の気持ちを伝えるようにしています。また、勤続10年、20年、30年という節目の年に休暇と食事・旅行のセットをペアでプレゼントしています。

◆ 地道にコツコツと

堅実かつ地道な経営を心がけています。従業員を守り、企業を存続するためには、売上高よりもその中身が重要です。大規模な設備投資や経営の多角化といった華やかさを求めるのではなく、コツコツと積み上げていくことを大切にしています。

そのためには、常に技術の向上を図り、その価値に見合った適正な価格で提供することを大切にしています。また、こうした姿勢を貫くことが信頼につながると考えます。

◆ 意見を出しやすくするためには役割分担を明確に

業務改善の提案や意見、必要な備品などについてしっかり伝えてもらうためには、声をあげやすい環境を整えることが大切です。会社に必要なものは、現場に携わる者から出てくるものです。

意見を出しやすくするための一つに、組織の職責や役割分担を明確にしています。例えば施工責任者は安全を第一に、現場の作業員は実際の作業を、それぞれの立場でしっかり従事し、その中で必要と思ったことを上長を通じて会社に伝える道筋を作っています。

情報の共有は朝礼で行い、会議よりも直接の会話を大切にしています。

◎組合に期待することは何ですか？

◆ 人材育成と木の良さをPRを

組合では木材プレカッタの共同加工事業を行っています。私は2010年から理事長を拝命しています。リーマンショックと組合の設備投資が重なり大変厳しい時期もありましたが、近年は木造建築の着工数が減少する中でも地域外へのPRの成果もあり、徐々に円滑な運営できるようになってきました。

組合ではお客様から預った資料(平面図、立面図、矩計等)を基に、CADを使いプレカッタ図面、仕様書、木拾い、見積書の作成をした上で、上棟日に合わせて納品できるように加工のスケジュールを調整します。こうした作業は経験が必要で、組合において人材の育成は最も重要です。人材確保難が懸念される中で、組合では今後も人材を大切に、育成を図っていくことに力を入れていきます。

また、組合として、業界全体として、木の良さをPRしていきたいです。

◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

◆ リニア中央新幹線で東濃に輝く未来を!

中津川市にはリニア中央新幹線の駅だけでなく、車両基地と整備場ができる計画です。これにより約3,000人の雇用創出が見込まれ、住宅の着工やインフラ整備のための土木工事等の増大が期待されています。こうした状況を見据えて、今から人材確保と設備投資を積極的に取り組み、建設や土木工事の需要に対応できる体制づくりに取り組んでいきます。

建設業者、中でも特に木を扱う事業者は厳しい状況が続いており、切磋琢磨してきた同業者が減少していくことに、長年心を痛めてきました。こうした中で、リニア中央新幹線の駅が中津川市にやってくることに希望の光を見出しています。

これからも地域への感謝の気持ちを大切に、輝く東濃のイメージを地域全体で共有して実現させていきます。

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

組合 紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



岐阜県既製服縫製工業組合

- 理事長 平嶋千里(有限会社ソーイング平島)
- 組合員数 62人
- 設立年月 1974年10月
- 住所 岐阜市藪田南1丁目11番12号
岐阜県水産会館内 5F
- TEL 058-273-4030



組合外観

縫製加工の事業者により組織する「岐阜県既製服縫製工業組合」を訪問し、平嶋理事長に組合の歴史や活動、今後の展望などを伺いました。

◆組合の歴史・活動

■戦後の右肩上がりの急成長から



平嶋理事長

当組合は縫製業を営む者が組織する工業組合です。戦後のアパレル産業は、右肩上がりに急成長を遂げ、ピーク時の組合員数は1,000人を超えました。しかし、縫製工場の海外移転などで国内の企業数・

従事者数が激減し、現在の組合員数は62人となりました。最初に影響を受けたのは工程が比較的少ない紳士服のスラックスでした。現在、国内で生産が多いものは、毎年デザインが変わるため少量生産でかつ工程数が多い婦人服のジャケットといわれています。

国内のアパレル産業が成長期で勢いがあつたときは、いかに量をつくるかに注力しており、設備投資を優先する傾向がありました。平成4年からは組合が外国人研修制度(現:外国人技能実習制度)の監理団体として組合員の技能実習生受入をサポートし、それまで培ってきた縫製の技術を実習生に指導していました。しかし、実習生は3年から5年で母国に帰ってしまいます。こうしたことを繰り返すうち、高い縫製技術を持つ人材が国内に育っていかないという状況に陥りました。

■ものづくり精神の原点に立ち戻った

時代は量よりも質が求められるようになり、「良いものを

つくる」というものづくり精神の原点に立ち戻り、熱意を持った役員が中心となって、今後の組合の方向性について議論を重ねました。

そして、付加価値の高いものづくりのための技術者を育成し、次世代を担う後継者を育てることを最大の課題として捉え、組合としての新たな取り組みを開始しました。

■プロフェッショナルミシンオペレーター育成講座

中央会からの提案で、組合等活動支援事業を活用して「プロフェッショナルミシンオペレーター育成講座」を平成29年度から開催し、今年度で3年目を迎えます。高度な縫製技術を習得するため、指導者には現代の名工といった一流の方を招いて、製図や縫製などの実技を交えた実践的な研修を行っています。

講座は好評で、現在は定員オーバーになるほど人気があります。さらには、講座を受講したいという理由で組合に新規加入がありました。

また、技術の向上だけでなく、参加者のやりがいを創出する機会にもなっています。

■技能検定の再開

昨年度から国家技能検定「婦人子供服製造技能士」を岐阜県では21年ぶりに実施しています。組合では育成講座の成果として技能検定のチャレンジを推進しており、講座受講生の中から技能士1級、2級の合格者が続々と誕生しています。技能検定の再開と講座受講生から合格者を輩出することは組合の悲願であり、今後もこの事業を継続していく予定です。

■工賃の適正化

組合として業界全体の工賃適正化に向けた取り組みもしています。最近では発注者側の意識も変わってきて、複雑な工程は工賃に反映する、もし価格を抑えたいのであれば工程を省略する、といった交渉により、価格の適正化を図っています。



プロフェッショナルミシンオペレーター講座の様子



◆組合が目指す方向性とは

■夢のある業界を目指して

「服をつくるのが好き」という若者集まれ!

平嶋理事長は「人材育成は組合の最も重要な取り組みである。人を育てるということは産業を育てること。私はこのアパレル産業に感謝をしているからこそ業界発展のために恩返しをしたい。外国人技能実習生のことで一部の業者に問題があったことは事実としてあるが、全縫製業者の話では決してない。実習生のことで業界がバッシングされるのは、正直悔しいし、この業界で働いている若い人の気持ちを考えると胸が痛む。岐阜アパレルに滞ったイメージをとにかく払拭したかった。おかげさまでプロフェッショナルミシンオペレーター育成講座は大変好評で、好事例として様々な場面で取り上げてもらう機会が増えた。本来洋服を

つくることは夢がある仕事で、自分が作った服で人に喜んでもらうことができる。芸能人・著名人が着てテレビや雑誌、ショーなど華やかな場面で使われることもある。服をつくるのが好き、ファッションが好きだから服をつくる、という夢がある業界として、これからも発展できるように組合一丸となって取り組んでいく」と語られました。



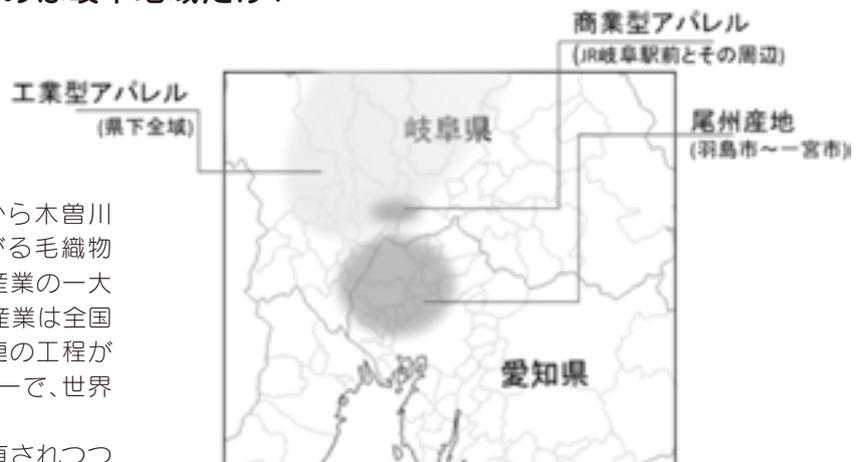
プロフェッショナルミシンオペレーター講座
2019年度の課題:トレンチコートが完成

業界豆知識

○繊維産業が丸ごと揃うのは岐阜地域だけ!

岐阜県は繊維産業の川上から川下まで(製糸・製織・ニット、染色整理、商業型アパレル、工業型アパレル(縫製))が揃っています。さらに、岐阜県羽島市から木曽川を挟んだ愛知県一宮市にまたがる毛織物産地「尾州産地」も含めた“繊維産業の一大集積地”を形成しています。繊維産業は全国各地にあります。これだけ一連の工程が揃っているのは日本国内では唯一で、世界的にも稀な地域なのです。

いま、ふたたびその価値が見直されつつあり、世界から注目を集めています!



資料提供:岐阜県産業技術総合センター

中央会・会報誌担当者が驚いたことをご紹介します!

○ボタンははずれるように付ける!

ミシンオペレーター講座での、稲荷田先生からの一言。「ボタンははずれるようにつけて」なぜか?という、服の生地を守るため、だそうです。

ボタンが何かに引っかかるなどで強い衝撃が加わったとき、ボタンがはずれないと生地ごと傷めてしまいますよね。ボタン付けはミシンでもできますが、いい塩梅でボタンをつけるにはやはり手縫いが一番だそうです。こういったところにも縫製の技術が凝縮されているのですね!

○洋服を買ったときについている共布は何のため?

服が破れた時に使う布、と思っている方が多いようですが、共布は洗濯テスト用の布だそうです。新しい洋服を初めて洗濯する前に、製品と同じ布で、洗濯をした際の色落ちや縮み、シワなどを試すことができます。お気に入りの洋服を大切にお手入れしてほしい、共布からそんな気持ちを感じます!

会長新春インタビュー



年頭にあたり、会員の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年を振り返りますと、自然災害による被害、深刻な人手不足、事業承継、消費税増税と複数税率の導入、働き方改革などへの対応、最低賃金の引上げ、さらには米中の貿易摩擦による受注減少など、中小企業を取り巻く事業環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、地域経済を支える中小企業・小規模事業者においては、さらなる生産性向上が求められ、個々の自助努力に加えて、中小企業組合等による共同化、協業化や企業間の連携強化を図るなど、積極果敢にチャレンジしていくことが重要であります。

中央会としては、中小企業連携組織の専門機関として、組合と中小企業の現場に足を運び、ニーズの把握につとめ、様々な事業を通じて会員組合等のチャレンジを後押ししていく所存です。

本年が中小企業組合と中小企業にとって、オリンピック・イヤーにふさわしい、活気に満ちた素晴らしい1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

『連携の力で無限の可能性にチャレンジ!』

～中央会は組合・中小企業の挑戦を応援します～

◆昨年を振り返って

重点施策として、企業間連携の促進と新製品開発支援、女性の活躍支援、若手経営者の育成と事業承継支援、人材不足に伴う人材確保支援、国の『ものづくり補助金』の地域事務局の運営に取り組んできました。

事業承継については、早期に取り組む必要性を組合員向けに周知しました。若手経営者育成では、各組合の青年部の現状や考え方を把握しようとアンケートを行いました。今後各組合に向けて提言書をまとめる予定です。

ものづくり補助金においては、国の平成30年度補正予算のものづくり補助金の地域事務局として214事業者、補助金ベースで約17億円の補助事業の執行を管理・支援しました。また、過年度のものづくり補助金実施事業者による「ぎふものづくり連携倶楽部(G-Club)」を設けており、新たな連携・マッチングにつながるようなビジネス交流会の開催、展示会への共同ブース出展、専用ウェブサイトを通じた事業者情報の発信などを行いました。

◆中央会の活動と方針

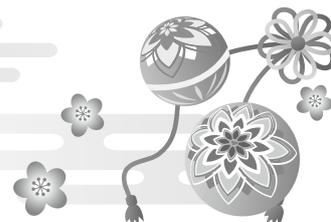
中央会では、引き続き「連携の力で無限の可能性にチャレンジ!」をスローガンに掲げ、連携による新たな価値の創造と生産性の向上に取り組む組合や中小企業者に対して、中央会が持つ多様な施策やノウハウを通じて積極的に支援していきます。

令和2年度においても、中央会の恒常的活動である巡回、窓口相談等により把握した組合及び中小企業者のニーズに対し、専門家の派遣による課題解決策の提案、研修会の開催、情報提供を行うとともに、重点事業として、次の事業に取り組むこととします。

1. 組合・企業間連携の促進と新商品開発等の支援
2. 人手不足対策への取組支援
3. 円滑な事業承継の推進に向けた支援
4. 組合等で働く女性の活躍推進
5. ものづくり補助金にかかる地域事務局の運営

具体的には、事業者連携による新商品開発等に向けた研究会、人手不足対策に関するセミナーの開催、円滑な事業承継に向けた対策セミナーの開催、業種別女性職員等を対象にしたセミナー・懇談会の開催を予定しています。

また、ものづくり補助金にかかる地域事務局の運営及び「ぎふものづくり連携倶楽部(G-Club)」の活動を通じた販売促進や販路開拓等のフォローアップ支援として、企業交流会やビジネス展示会、研究会活動を行い、企業間連携の促進を図ります。



中央会活動

理事会並びに役員交流会を開催

中央会は、理事会及び講演会、並びに役員交流会を11月25日に都ホテル岐阜長良川で開催した。

【理事会】

開会にあたり今井会長があいさつした後議案審議に入り、令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）の概案の承認について審議し、原案どおり可決決定した。また、新規加入組合等のほか、今年度の主な事業の進捗状況、令和2年度の通常総会日程等について報告を行った。

続いて岐阜労働局より下請中小企業振興法や雇用関係の助成金等について情報提供があった。



【新規加入組合】

期間：2019年4月18日（前回理事会）～2019年11月25日まで
※（ ）内は所在地・組合員数

【1号会員】

- KRC協同組合（岐阜市・27名）
- アニス国際介護・人財協同組合（羽島市・4名）
- トライアパレル協同組合（岐阜市・4名）
- M&N建設協同組合（山県市・5名）

【賛助会員】

美濃ガス株式会社（美濃市）

～理事会・通常総会の予定～

○令和2年度第1回理事会

令和2年4月22日（水）
10：30～12：00
ホテルグランヴェール岐山 3階「羽衣」

○第65回通常総会

令和2年6月12日（金）
15：30～17：00
岐阜グランドホテル 2階「雪」
※総会終了後、懇親会を予定

【講演会】

テーマ 「中部地域の経済動向と今後の展望」
講師 中部経済産業局長 高橋 淳 氏

高橋局長は経済動向について「景気は緩やかに回復しているが少しずつ下方修正している。ただ、GDPの寄与度の推移では民間消費が牽引しており雇用の状態も良好で給与総額や賃金も伸びているため、回復基調を維持できるのではないかと考えている。他地域との比較では中部地域は元気に動いている」と述べた。

また、今後の中小企業施策について「①事業承継支援策を集中して実施。今後は経営者保証解除を検討する。②事業継続力強化計画認定制度を創設し、防災対策の支援を強化する。③キャッシュレス・ポイント還元事業についてさらに普及を図る」と3つのポイントを説明し施策の活用を呼びかけた。



中部経済産業局長 高橋局長

【役員交流会】

古田肇岐阜県知事をはじめとする多くの来賓を迎え、役員交流会を開催した。

古田知事は開会にあたり「近年の災害を教訓に、災害時の対応について改善していく。先日、リトアニアの大統領が来岐された。リトアニアでは、2020年を命のビザで知られる杉原千畝生誕120年・命のビザ発給から80年にあたることから「スギハラ・イヤー」と指定したとのこと。令和という時代が、何か繋げてくれているものと感じている。政策面では、特に人材確保・育成について重点をおく。2020年はオリンピック・パラリンピック、大河ドラマ、ねりんピックがあり、岐阜県としてはピックイヤーとなり、岐阜県の魅力を広く発信していきたい」とあいさつした。



交流会で古田知事があいさつ

(11月21日～1月20日)

中央会日誌

【中央会事業】

青年部組織化推進事業	11月21日
理事会・役員交流会	11月25日
官公需フォーラム	11月27日
事業承継セミナー	12月3日(高山)・19日(岐阜)
地域資源活用研究会	12月9日
組合女性事務局懇談会	12月12日
消費税講習会	1月14日

組合等ブランド強化支援事業

晋山窯(下石陶磁器工業協同組合)	11月26日
(仮称)岐阜和傘協同組合	12月20日

組合等支援事業

岐阜県既製服縫製工業組合	12月12日
--------------	--------

【出席会議等】

11月26日 法施行記念式典
29日 中小企業大学校瀬戸校関係機関連絡会議
12月3日 岐阜県成長・雇用戦略意見交換会
岐阜県IoTコンソーシアムセミナー・交流会
4日 東海・北陸ブロック中央会会長会議
6日 労働者派遣事業適正運営協力員会議
24日 岐阜県日本語教育の総合的な体制づくり推進検討委員会
25日 若年技能者人材育成支援事業等に係る連携推進会議
1月13日 (一社)岐阜和傘協会設立発表会
14日 岐阜県生涯現役促進地域連携協議会
17日 地域融資動向に関する情報交換会

中協法施行70周年及び団体法施行60周年 ～全国中央会が記念式典を開催～

「中小企業等協同組合法」施行70周年及び「中小企業団体の組織に関する法律」施行60周年を祝う記念式典が11月26日にANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都）において盛大に開催された。

宮本周司経済産業大臣政務官、河野義博農林水産大臣政務官、鈴木俊彦厚生労働事務次官ほか、多数の来賓からお祝いの言葉が寄せられた。

式典では、他の模範となる優良組合、組合の発展に寄与した組合功労者に対する表彰が行われ、全国で117の優良組合、181人の組合功労者が表彰された。また、組合に長年勤務し功績のあった組合優良職員409人に対する全国中央会会長表彰も行われた。



～岐阜県の表彰者をご紹介します～

■中小企業等協同組合法施行70周年に係る表彰

<経済産業大臣賞表彰>

優良組合 岐阜県鋳物工業協同組合
組合功労者 今井 哲夫(岐阜県金属工業団地協同組合)

<中小企業庁長官賞表彰>

優良組合 高山管設備工業協同組合
土岐市陶磁器卸商業協同組合
肥田陶磁器工業協同組合
組合功労者 高橋 勤(西濃電気工事協同組合)

<全国中小企業団体中央会会長表彰>

優良職員 溝脇 民子(協同組合岐阜県刃物会館)
豊田 直美(川崎岐阜協同組合)
山川 薫(岐阜県銘木協同組合)
山田 昇弘(岐阜県可児工業団地協同組合)
中川 英俊(岐阜県火災共済協同組合)
長谷川祥司(土岐市陶磁器卸商業協同組合)

■中小企業団体の組織に関する法律施行60周年に係る表彰

<経済産業大臣賞表彰>

優良組合 岐阜県生コンクリート工業組合

<全国中小企業団体中央会会長表彰>

優良職員 上野 秀彦(岐阜県製本紙工工業組合)

中小企業の官公需確保をめざしフォーラムを開催

中央会と岐阜県建設関連業団体部会（荒川晶一部会長）は、中小企業の官公需確保支援を目的として11月27日に「県官公需フォーラム」をホテルグランヴェール岐山で開催し、部会員24人が参加した。

県担当者との懇談会では、県担当者9名が出席し、荒川部会長並びに県土整備部の大野土木技監があいさつ。続いて、県担当者から事前に提出した要望に対する回答があり、部会員を代表して岐阜県砂利（協）井上豊秋理事長、岐阜県土木用ブロック協会 藤井有二会長、岐阜県砕石（工組）後藤佳政理事長が業界の状況等を報告した。

県議会幹部議員との懇談会では、小川恒雄県議会議長、長屋光征総務委員長、伊藤秀光企画経済委員長、国枝慎太郎厚生環境委員長、高殿尚土木委員長、藤墳守自由民主党岐阜県連政調会長、猫田孝自由民主党岐阜県連会長代行（本部会顧問）にご出席いただいた。部会員のうち10組合が直接要望し、出席議員から災害対応における県内業者との連携や人材確保に向けた取り組みについて所見を述べられた。



県議会幹部議員との懇談会

経営者、後継者のための事業承継入門セミナーを開催

—事業承継は「思い」を継ぐこと。ただし、「やり方」は継がせない!

中央会は、事業承継において「何からしてよいかわからない」「会社を継ぐことに不安がある」といった悩みがある中小企業者を対象に、経営者や後継者が何をすべきかを考え、その双方が事業承継に取り組む動機付けを目的としたセミナーを東濃会場は11月11日にセラトピア土岐、飛騨会場は12月3日に高山市民文化会館、岐阜会場は12月19日にOKBふれあい会館で開催した。

講師にはご自身も事業承継の経験を持つジャイロ総合コンサルティング(株)の渋谷雄大取締役社長を迎え、事業承継に取り組む際のポイントを整理した。

参加者からは「講師ご自身の経験に裏打ちされた話で大変説得力があり、今後、自身の仕事に生きるものだと思います。レジュメやメモしたことを何度も読み返そうと思います」といった感想があった。

以下、内容の一部を紹介する。



テーマ：「会社を継ぐのは最大のチャンス！～事業承継は低リスクの起業～」

講師：ジャイロ総合コンサルティング株式会社 取締役社長 渋谷 雄大 氏

■ 事業承継と相続は切り離して考える

- 事業承継とは、自分のやってきた“証”や“思い”を継ぐ話である。
- 会社の年表・歴史や思いは言葉ではなく文章で残そう
- 考え方(思いと理念)は継がせるけれど、やり方は継がせない。
→社長としての帝王学は今も昔も変わらないが、テクニック論(SNS等)はどんどん変わる。やり方は後継者に任せよう。
- 承継のポイントは第3者が間に入ること。公的機関の活用もおすすめ。
 - ・相続は税理士へ相談。事業承継で継がせることは商売の「勘」!

■ 「勘」を引き継ぐには？

- 過去に経営の危機があったとき「どういう考え方」「どういう判断をしたか」に焦点を当てて会話をしよう。厳しいときにどう乗り越えるかが帝王学。
- 「OODA(ウーダ)」をまわそう
 - ・Observation(感知)…観察眼。どれだけ“粗探し”をして“気が付けるか”が経営の勝負。
 - ・Orientation(情勢判断)…予測。もしや!?!という仮定を立てて原因を探る。これは社長が教えてあげて!客観的な意見も取り入れよう。

・Decision(意思決定)…経営者は不確定な状態でも意思決定をする必要がある。コツはマメに決定して、ズレたらすぐに軌道修正すること。

・Action(行動)…意思決定したらすぐ行動を。周りを巻き込む方法も教えてあげて。

- 大切なことは「リスペクト」。特に、下の世代が上の世代に対するリスペクトを持つこと。帝王学は何十年も経験してきた先代が持っている。(もうあなたの時代は終わったと思っていたら伝わりますよ)



■ 事業承継補助金を活用しよう

- 後継者の新たな取り組みに対して補助金が活用できる=自分で今の時代に合った方法を実現するチャンス!
- 「事業承継計画書」を策定しよう
- 廃業費(事業転換や業務縮小)にも対応=事業のスクラップ&ビルドができる

「組合女性事務局懇談会」を開催

—懇談会に参加して「やってみよう」と思えることがたくさんあった

中央会は、組合事務局の女性職員を対象に「組合女性事務局懇談会」を12月12日に開催した。本事業は今年で3年目となる取り組みで、今回は女性事務局同士の交流を深め、能力・資質の向上を図るとともに組合への関わり方のヒントを得て具体的な行動を持ち帰ってもらうことを目的として、女性事務局が活躍している組合事例の講演会と女性の目線で捉える組合の課題をどのように解決していくかについて考えるグループ懇談会を実施した。

講演会では東京金銀器工業協同組合の中村律子氏に2つの組合での事務局経験を通して組合の中における女性事務局の役割をテーマにお話いただいた。

続いて行われた懇談会では、まず普段組合で仕事をする上で感じていることについて懇談し、解決したいと思うテーマ出しをした。その中からそれぞれが参加したいテーマを選び、テーマ別にわかれたグループで意見を出し合い、最後に模造紙にまとめて発表した。

参加者からは「意見交換により具体的な解決策が見えた」といった声が聞かれた。また、ファシリテーターの青木氏からは「話をしていく中でやってみようと思えることがたくさんあったのではないかな。難しい話を学ぶ時代は終わった。それぞれの経験の中に学びやヒントがある。今日の学びを持ち帰り、組合をより良くしていつてもらいたい」とメッセージが送られた。

①講演会

テーマ「組合の中における女性事務局の役割～女性ならではの気配りと仕事のやりがい～」
東京金銀器工業協同組合 事務局
中村 律子氏



中村 律子氏

【講演の内容】

—組合員との信頼関係を大切に、自分の仕事に誇りをもって働いてほしい。
2つの組合（（協）関東給食会・東京金銀器工業（協））での経験とその中で感じたことをお話いただきました。

- ・（協）関東給食会で部会活動が活発になったのは、若い組合員が色々な提案をしてくるようになったからである。事務局が提案するのも良いが、組合員から提案が湧き上がってくると主体性が生まれ、活動が積極的になった。
- ・組合の基本は相互扶助だが、摩擦は起こるもの。事務局は問題の組合員同士の話し合いの場を作り、そこで解決してもらう様にして公平な立場をとるようにしている。
- ・組合士は他の女性事務局に誘われ、東京都中央会の講習会で勉強して合格した。組合士資格取得後は資格手当のほか理事会に出席するようになり、認めもらえるようになったと感じた。東京都組合士協会にも加入し、他の事務局と交流している。
- ・事務局職員として組合員と上手に向き合うポイントは、一歩引くことである。時には主張しなければならぬが、事務局は組合員のサポート役だという事

を心掛けている。

- ・ただし、サポート役といっても組合を支えているのは事務局職員であり、事務局なしに組合は動かない。組合員との信頼関係を大切に、自分の仕事に誇りをもって働いてほしい。

②グループ懇談会

「女性目線で見える組合の課題と解決へ向けての方策」
進行役：ワールドカフェぎふ
ファシリテーター 青木文子氏



青木 文子氏

STEP1

懇談～テーマ出し
どのテーマに参加するかを決めてエントリー



STEP2 テーマ別にグループ懇談会



STEP3 懇談の内容を模造紙にまとめ、グループ毎に発表



【テーマと発表の内容】

テーマ「そもそも組合とは何か？」

→組合員のためになることをサポートする!

- ポイント:①今日の学びを上司に伝える。
②中央会に聞く。研修会やセミナーに参加する。
③組合に入ることを勧めることができるようにする。

テーマ「組合のメリットとは何か？」

→つながりを持つ!

- ポイント:①組合員の組合参加率を上げる。(事務局を立ち寄りやすい場所にする。)
②同業者との情報交換を促す。

テーマ「事務局のちょっとしたコツは？」

→内外のコミュニケーションを図る!

- ポイント:①伝えた、という証拠を残す。
②組合内外問わず聞ける人に聞く。
③自分のペースを大事に、自分の意見は伝える。

特集

2019年度「中小企業組合等課題対応支援事業」取組事例紹介

中央会が小企業者組合を対象に全国中央会の助成事業として実施する「取引力強化推進事業」「小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業」、全国中央会が実施する「中小企業組合等活路開拓事業」に採択され取り組んだ事例を紹介します。

組合の取り組みを効果的にPRする！ 「取引力強化推進事業」

組合員である中小企業及び小規模事業者の取引力強化促進を図るために実施する取組（ホームページやチラシの作成等）に対して支援を行うものです。

●岐阜生花市場協同組合（松尾真吾理事長） テーマ「岐阜花き地方卸売市場活性化のためのPRパンフレットの作成」

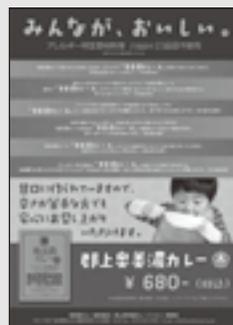
【概要】組合が運営する岐阜花き地方卸売市場の「①設備概要」と「②組合事業」を紹介する2種類のパンフレットを制作。

- ①設備概要では、市場の機能やシステムなどの主にハード面における特徴を紹介
- ②組合事業ではより具体的な取扱品目・生産地、輸送体制、販売方法、決済方法、清算日など、市場を利用する上での特徴を紹介



●奥美濃カレー協同組合（篠哲朗理事長） テーマ「新たな組合ブランドイメージを反映した『奥美濃カレーA(エース)』のPR強化」

【概要】奥美濃カレーのコンセプト「みんなで食べる、美味しい地域ブランドカレー」をより訴求するため、アレルギー対応の「奥美濃カレーA」の紹介（開発に至った経緯やネーミングに込めた思い等）に重点をおいたPRツールとして、チラシとポップを作成。



●丸重製紙企業組合（辻一理事長） テーマ「映像による和紙専門店の販売促進及び売上拡大事業」

【概要】2019年7月にオープンした組合直営の和紙専門店「Washi-nary」のコンセプト、店舗、取扱製品等を紹介する映像を制作。映像による情報発信をすることにより認知度向上を図り、来店促進及び販売力強化につなげる。



アイデアを試す！ 「小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業」

組合員である小企業者の経営基盤の強化や生産性の向上を目指した、既存の共同事業の改善や新たな事業開発のための実現可能性調査（フィージビリティスタディ）、実現可能性調査の結果を具体化するための事業に対して助成を行い、小企業者及び小企業者組合の活性化を支援するものです。

●丸重製紙企業組合（辻一理事長） テーマ「和紙の使い方を提案する飲食事業展開に向けたフィージビリティ・スタディ」

【概要】組合が運営する和紙専門店の隣に、新事業展開として現代のライフスタイルに合った和紙の使い方を提案する飲食事業を展開する予定であり、飲食事業の実現可能性及び飲食店のコンセプトを検討するための調査事業を実施。



新たな活路を見いだす！ 「中小企業組合等活路開拓事業」

既存事業分野の活力向上・新陳代謝、取引力の強化、海外展開戦略、情報化の促進、技術・技能の継承など、中小企業が単独では解決困難なテーマについて、連携して取り組むプロジェクトを支援するものです。

●川崎岐阜協同組合（井上良介理事長） テーマ「ビジネスジェット向け座席の試作を通じた航空機装備品事業への活路開拓」

【概要】組合員は大手重工より航空機機体構造部品の受注を受けているが、世界的な航空機機体構造体製造ビジネスのローコストカントリー（以下LCC）化が進むにつれ、日本での製造比率が低下してきている。よって、LCCでは製造が困難な航空機装備品分野への活路開拓を目指す。

- ・試作品を製作することにより、技術的課題を明らかにすると同時に、活路開拓に向けた検討・研究を実施
- ・ビジネスジェット向け座席として、メーカーならびに有識者の意見を収集し、ユーザー目線での使用感やデザイン改良について検討・研究を実施

上記事業について、次年度の実施を検討されている場合は、是非、本会にご相談ください！

多治見・土岐・瑞浪で美濃焼新春見本市

岐阜県陶磁器工業（協連）所属の13組合は、多治見・土岐・瑞浪市で1月8・9日、新春恒例の「美濃焼新春見本市」を開催した。各組合の陶磁器メーカーが商社等に今年の新作や一押しの商品をアピールする場として毎年実施しており、アイデアや技術をいかした商品がずらりと並んだ。

■滝呂の青年部が意匠研究所と初コラボ

多治見市のセラミックパークMINOでは、市之倉、笠原、滝呂、高田の4陶工（協）が新製品を披露した。今回初の試みとして、滝呂陶磁器工業（協）のブースでは青年部と多治見市陶磁器意匠研究所と協力して開発した商品を展示した。研究所に新しく導入された3Dプリンタを使って試作開発したもので、特長である複雑な模様が好評であった。



滝呂青年部×意匠研究所

■晋山窯がブランド事業の成果物を初披露

土岐市のセラトピア土岐では、妻木、肥田、泉、土岐津、土岐津西部、下石の6陶工（協）が集結。下石陶工（協）の晋山窯ヤマツ（株）は、本会の組合等ブランド強化支援事業を活用して開発した茶器「Voyage」を初披露した。ヨーロッパ向けにブランドバックをイメージしたデザインのティーポット等で来場者の注目を集めた。



セラトピア土岐の様子
写真中：晋山窯の新商品

駄知体育館では駄知陶工（協）が単独で、瑞浪市総合文化センターでは、瑞浪と恵那の2陶工（協）が出展した。燃料費や陶土などの原料費の値上げなど厳しい状況が続くが、連合会傘下組合が協力して業界全体の発展を目指す。

新事業：介護施設で洋服販売

岐阜婦人子供服工業組合（伏見二彦理事長）

岐阜婦人子供服（工組）は、組合の新たな試みとして県内の介護施設での洋服販売会事業を始めた。組合員の取り扱う婦人服を施設に持ち込み、買い物の機会が少ない入居者に服選びの場を提供するとともに、組合員の販路拡大を図る。昨年9月から提案を開始し、11月から12月にかけて4施設での販売を実施した。

組合は各施設を回って品揃えや価格面など施設側の需要を把握して組合員に伝えている。

入居者や家族からの評判は良く「豊富な品揃えで気に入ったものを購入でき、買い物の楽しさを味わえた」といった声が聞かれた。

今後は受け入れ先を増やすとともに、1施設で季節ごとの定期販売を見込み、組合の新たな事業として確立していく。



介護施設内で洋服の買い物を楽しんでもらえる

岐阜和傘承継へ 協会設立

一般社団法人岐阜和傘協会（藤澤暁夫代表）

（一社）「岐阜和傘協会」が1月13日に設立され、同日ぎふメディアコスモスで設立披露会が開催された。

かねてより岐阜市和傘振興会を中心とする和傘職人らが集結し、中央会の組合等ブランド強化支援事業を活用しながら、岐阜和傘の後継者育成を主な目的とした組織化の検討をしてきた。最大の課題であった後継者育成に係る資金調達はクラウドファンディングを活用して寄付を募ることとし、公益性のイメージや税制面でメリットがある一般社団法人の組織形態を選択した。

本会事業では、最適な組織形態の選択、設立時の事業計画や収支予算の策定、定款の整備、後継者募集や決定など、専門家や中央会職員も交えて幾度も話し合いをした。

今後は伝統的工芸品の指定を目指し、事業協同組合の設立も視野に入れ、岐阜和傘の魅力発信やさらなるブランド化に向けた取り組みを進める。



盛大に開催された設立披露目会



©岐阜県 清流の国
ぎふ・ミナモト0682

組合事務局 キラキラ職員レター

組合事務局でキラキラと働いている職員の方を、キラキラした川の水面に住む妖精「ミナモ」が紹介するコーナーです。さわやかな川の流れのように、人々が出会い、絆を深めるきっかけとなることを願っています。



藤田 陽子 さん

岐阜県日中友好技能実習協同組合連合会
(岐阜市金町1丁目23番地)

組合は外国人技能実習生の受入を行う連合会で、技能実習生に関わる部署と経理の支援を行う部署があります。私は経理として傘下13の組合の決算書を作成しています。優しい上司と楽しい仲間のおかげで、和気あいあいとした雰囲気の中、安心して働かせていただいています。

子育てをしながらパートで8年、2年前からは正社員として働いています。結婚前に別の組合事務局で働いていたご縁で、こちらの組合で職場復帰しました。13もの組合があるため決算期が重なる時は大変ですが、家族ぐるみのお付き合いがあるほど仲良しの先輩たちと助け合いながら乗り越えています。

整理整頓が得意で、机の上はいつもきれい!と言われます。きれいに保つコツは「置き場所を決めること」です。

最近の趣味は、筋トレとホットヨガです。筋肉ムキムキを目指しています!

仕事と子育てを両立できる環境に感謝し、自分なりに一日一日できることを積み重ねてこれからも頑張っていきたいと思います!



星 さゆり さん

岐阜県電気工事業工業組合
(岐阜市今川町2丁目26番地の3 電気会館4F)

組合では様々な事業を行っていますが、私は羽島にある、中部電力からの委託で建物の漏電調査を実施する「岐阜電気安全サービス」に勤務しています。この調査は法定点検といって、電気を安心して使用するために4年に1回電気設備を調査するように法律で定められているものです。

私は調査を受けるお客様からのお問い合わせの対応や調査のお知らせをする資料の準備等を担当しています。組合で働き始めて1年半になりますが、電気の専門家である調査員さんの中で唯一資格を持っていないことを活かして、一般の目線を大切にするようにしています。例えば、専門用語ではなく誰でもわかりやすいような言葉を選ぶように心がけています。また、お客様からお問合せが多かった内容については、図を取り入れる提案をしたこともあります。

タッキー&翼の大ファンで(高校生のころに曲を聞いて好きになりました)最近、翼くんが活動を再開したので本当に嬉しいです!

漏電調査により火災などの事故を防ぐこともできるため、定期的な点検は大事です。調査員は委託証や腕章が目印です。どうぞ安心して調査を受けてくださいね!

組合士の問題に挑戦!

中小企業組合検定は、組合事務局で働く役員が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験で、「組合会計」「組合制度」「組合運営」の3科目があります。試験に合格し実務経験を持つ方に、中小企業組合士(通称「組合士」)の称号を与える制度で、毎年12月の第1日曜日に実施しています。(主催:全国中小企業団体中央会 後援:中小企業庁 協力:都道府県中小企業団体中央会)

「中小企業組合検定」の過去問と解答例を掲載します。日ごろの組合運営の参考にさせていただくとともに、ぜひ検定にもチャレンジしてください。

平成30年度「組合運営」より抜粋

問 中小企業の協同組合と株式会社の相違について400字以内で述べなさい。

(解答例) 中小企業の協同組合は、経営資源の調達に困難性を有する中小企業者・創業者が、公正な経済活動の機会の確保を目的に組織した人的結合体である。この目的を達成するため相互扶助の精神に基づく共同事業により、組合員に奉仕することが期待されている。

一方、株式会社は営利を目的とする資本的結合体であり、出資者である株主に対して配当・株価上昇などで金銭的に報いることが期待されている。

以上の基本的な相違点を踏まえて、中小企業の協同組合の特質を挙げると次のようになる。

- ①組合員の加入脱退は自由である。
- ②議決権・選挙権は出資の多寡にかかわらず1人1票である。
- ③利益の配当は主に事業を利用した分量に応じて行い、出資に対する配当は制限される。
- ④組合員に直接奉仕することを目的としている。
- ⑤組合員以外の者の事業利用は制限されている。
- ⑥組合員1人当たりの出資口数は制限されている。



景況レポート

令和元年
12月末調査
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名
の情報連絡票から

【I】12月の特色

- ◆景況感DI値マイナス41 前月比4ポイントの悪化
～再びマイナス40台と厳しい状況が続く～
- ◆売上高・収益状況DI値がそれぞれ5ポイント・
7ポイントの改善

【II】12月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転1、悪化42で、DI値はマイナス41となり、前月のDI値マイナス37に対し、4ポイントの悪化となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス47となり、前月比5ポイントの改善、非製造業のDI値はマイナス36となり、前月比15ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業においては、製麺、合成繊維織物、メンズアパレル、婦人・子供服の4業種(前月比+2業種)であり、悪化したとする業種は、東濃ひのき、印刷の2業種(前月比-2業種)となった。

また、非製造業において改善したとする業種は、0業種(前月比-6業種)であり、悪化したとする業種は、水産物商業、家電機器販売、高山旅館、建築設計、貸植木業の5業種(前月比+4業種)となった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス37で前月比5ポイントの改善、販売価格DI値は±0で前月比4ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス31で前月比7ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス9で前月比

1ポイントの改善、雇用人員DI値はマイナス8で前月比5ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、製造業では、「各社の注文残高にバラつきが出てきており、想定を下回る市況が続いており、そのあたりが冬季休業期間に表れている。(タイル)」、「共同受電事業における電気使用量の対前年同月比は、前月は6.5%減、今月は6.0%減となった。特に、プレス・钣金、工作機械においての電気使用量減が目立っており、業界の景況感も前月同様、悪い状況が続いている。(県金属工業団地)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「先月に引き続きインバウンドの活況に牽引されてのものと認識している。12月という季節柄、雪を求めての来訪客も多かった。(高山市商店街)」などプラスの内容が報告された一方で、「消費増税の駆け込み需要も目立つほどなかったが、増税後の買い控えが影響している。暖冬であり、季節商品の売れ行きも悪く、全体の販売も悪化している。(家電機器販売)」、「例年の繁忙はなく、忙しく感じるのは12月中旬くらいであった。売上が伸びない中、燃料価格上昇、人件費増は大きく経営を圧迫する。(貨物運送(岐阜地区))」などマイナスの内容が報告された。

また、来年に期待するコメントでは、「1月より放送開始のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」に関する商品のお披露目を県主催で開催。(菓子)」、「オリンピックイヤーとして景気が良くなることが考えられ、刃物についても海外からのお客様によるインバウンドを期待したい。(刃物等金属製品(輸出))」などといった内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

12月次景況	
項目	DI値
景況	-41 (-4)
売上高	-37 (5)
販売価格	0 (4)
収益状況	-31 (7)
資金繰り	-9 (1)
雇用人員	-8 (-5)

カッコ内は前月比増減ポイント

あり、特に紙・紙加工品、窯業・土石、一般機械、卸売業、サービス業、運輸業の区分が多かった。

【販売価格の動向】

販売価格DI値±0、前月比4ポイントの改善。

販売価格が上昇した業種は7業種(前月比+2業種)あり、製造業では牛乳、食肉(国産)、縫製(既製服)、銘木、陶磁器(工業)、非製造業では、石油製品販売、貸植木業である。

販売価格が低下した業種は7業種(前月比-1業種)であった。

【売上高の動向】

売上高DI値マイナス37、前月比5ポイントの改善。

売上高が増加した業種は7業種(前月比±0業種)あり、製造業では縫製(既製服)、家具、非製造業では、生花販売、高山市商店街、理容・美容業、電気工事、貸植木業である。

売上高が減少した業種は33業種(前月比-4業種)

【収益状況の動向】

収益状況DI値マイナス31、前月比7ポイントの改善。

収益状況が好転した業種は3業種(前月比+1業種)あり、製造業では銘木、非製造業では、高山市商店街、木造建築である。

収益状況が悪化した業種は25業種(前月比-3業種)であり、特に窯業・土石、卸売業、サービス業の区分が多かった。

【資金繰りの動向】

資金繰りDI値マイナス9、前月比1ポイントの改善。

資金繰りが好転した業種は1業種(前月比+1業種)あり、製造業の米菓である。

資金繰りが悪化した業種は7業種(前月比±0業種)であった。

【雇用人員の動向】

雇用人員DI値マイナス8、前月比5ポイントの悪化。

雇用人員が増加した業種は3業種(前月比-3業種)あり、製造業では米菓、機械すき和紙、非製造業では、生花販売である。

雇用人員が減少した業種は9業種(前月比-2業種)であった。

県内中小企業

(12月末調査)

主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳		△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)		△	○	△	△	△	△
	菓子		▲	△	▲	△	△	▲
	米		△	△	△	○	○	△
	製麺		▲	△	▲	▲	△	△
繊維・同製品	擦糸		▲	▲	▲	△	△	▲
	ニット工業物		△	▲	△	△	△	△
	毛織物		▲	△	▲	▲	△	▲
	合成繊維織物		△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル		△	△	▲	△	△	△
木材・木製品	製材		△	△	△	△	△	△
	銘木		▲	○	○	△	△	△
	家具		○	△	△	△	△	▲
紙紙加工品	機械すき和紙		▲	△	▲	△	○	△
	特殊紙		▲	△	△	△	△	▲
	紙加工品		△	△	△	△	△	△
印刷	印刷		▲	△	▲	△	△	▲
化学ゴム	プラスチック		△	△	△	△	△	▲
窯業・土石	陶磁器(工業)		△	○	▲	△	△	▲
	タイル		▲	△	▲	▲	△	▲
	窯業原料		▲	△	▲	△	△	▲
	石灰		▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート		△	△	△	△	△	△
	砂利生産		△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産		▲	△	△	△	△	△
	鋳物		▲	△	△	△	▲	▲
	刃物等金属製品(輸出)		△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)		△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ		△	△	△	△	△	▲
	県金属工業団地		▲	△	△	△	▲	▲
	可児工業団地		▲	▲	▲	▲	△	▲
輸送用機器	金型		△	△	△	△	△	△
	輸送用機器		△	△	△	△	△	△

非製造業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸		△	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸		▲	△	▲	△	▲	▲
	機械・工具販売		▲	▲	▲	△	△	▲
小売業	青果販売		△	△	△	△	△	△
	水産物商業		▲	△	▲	△	△	▲
	家電機器販売		△	△	△	△	△	▲
	メガネ販売		△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売		▲	△	▲	▲	▲	▲
	石油製品販売		△	○	△	△	▲	△
	共同店舗(飛騨)		▲	△	△	△	△	△
	生花販売		○	△	△	△	○	△
商店街	岐阜市商店街		▲	△	▲	△	△	▲
	大垣市商店街		△	△	△	△	▲	△
	高山市商店街		○	△	○	△	△	○
サービス業	自動車車体整備		△	△	▲	△	△	▲
	長良川畔旅館		▲	△	▲	▲	△	△
	下呂温泉旅館		▲	△	△	△	△	△
	高山旅館		▲	△	▲	△	▲	▲
	クリーニング		▲	△	▲	△	△	▲
	広告美術		▲	▲	▲	△	△	▲
	旅行業		△	△	△	△	△	△
	理容・美容業		○	△	△	△	▲	△
建設業	土木(岐阜地区)		▲	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)		▲	△	△	△	△	△
	建築設計		▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物		△	△	△	△	△	▲
	電気工事		○	△	△	△	△	△
	管設備工事		△	△	△	△	△	△
	建築板金		△	△	△	△	△	△
	室内装飾		△	△	△	△	△	△
	木造建築		△	△	○	△	▲	△
	運輸業	貨物運送(岐阜地区)		▲	△	▲	△	△
軽運送		▲	△	△	△	△	△	
その他の非製造業	貸植木業		○	○	△	△	△	▲

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]
 △: [不変]
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]



全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（平成30年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は、過去のものを含め、全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」として公開していますので、ぜひご活用ください。「組合事例検索システム」<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

石川県電器商業組合

「まちのでんきや」ブランド化推進による組合活路開拓

主な業種	家庭用電器製品販売		
住所	石川県金沢市福増町南1304番地		
URL	http://machinodenkiya.ishikawa.jp/	電話	076-249-5297
設立	昭和36年6月	組合員	257人
		出資金	14,810千円

■ 背景・目的

当組合の青年部会は、平成26年に結成された。組合員である「まちのでんきや」で家電製品を購入するのは、高齢者世代であることから、「まちのでんきや」の「地域密着度が高く、お客様のご自宅を訪問できる」強みを活かし、高齢者世代へのサービス提供を通じて現役世代との継続的な関係を構築し、組合員が一丸となって主要顧客へ育成することが目的である。

■ 取り組みの手法と内容

青年部会が事業を推進するにあたり、定例会のほか、LINE グループ、スカイプ会議等、新しい手法を駆使してコミュニケーションの質・量を高め、キーマンである青年部長が迅速な意思決定を行い、組合のコンセンサスを得ている。主な事業は以下である。

- ・振り込め詐欺等防止活動：全国電機商業組合連合会「無料安全点検訪問活動」の石川オリジナル版として、高齢者宅巡回・振り込め詐欺等防止のための注意喚起を実施した。
- ・石川の技能まつり参加：LED ランタン工作教室開催、「まちのでんきや」PRチラシ配布等を実施した。
- ・「まちのでんきや」ロゴマーク商標登録：「家＝お客様 プラグ＝まちのでんきや 共に右肩上がりの成長を目指す」というコンセ

プトに基づき、ロゴマークを作成、商標登録。ユニフォームやノボリ等で使用している。

- ・「まちのでんきやプロジェクト」稼働：従来のホームページを、「まちのでんきや」が、くらし、熱中症、振り込め詐欺等の困りごと、トラブル、犯罪から高齢者をサポートできる存在であることをPRする親孝行応援サイト「でんきのつえ」にリニューアルした。「でんきのつえ」は汎用性が高いことから「まちのでんきや」ブランド化の全国展開における有力なツールと考え、当面北陸3県、将来的には全国の商組HP における導入を目指した事業展開を行いたい。



■ 成果とその要因

石川版「でんきのつえ」内でホームページを開設した組合員は目標50名に対し16名、「でんきのつえ」導入目標北陸3県に対し石川、富山2県という達成状況であるが、石川版が立ち上がったのが平成30年5月であり、目標達成は今後の課題である。日本全国で「まちのでんきや」ブランド化を推進するという長期ビジョンがあり、「組合と組合員がタッグを組んで活路を拓く」という原点に立ち返って事業に取り組んだことが、成果獲得の最大要因といえよう。

① キーファクター

「組合と組合員がタッグを組んで活路を拓く」という原点に立ち返り、親孝行応援サイト「でんきのつえ」運営を中核として「まちのでんきや」ブランド化の全国展開を目指す。

高島晒協業組合

若手中心へのシフトで海外展開と人材育成を強力に推進

主な業種	クレープ晒加工及び販売		
住所	滋賀県高島市新旭町旭1411番地		
URL	http://takashimasarashi.com/	電話	0740-25-3515
設立	昭和33年12月	組合員	8人
		出資金	76,500千円

■ 背景・目的

組合の晒（さらし）加工量は減少を続け、平成29年度には6万反を割る状況になっている。さらに重油や染料等原材料高騰や組合職員の高齢化及び市場ニーズの小ロット化等様々な要因から経営環境は悪化している。この状況を打開するために、気候風土の似た海外への販売と若手職員の採用及び育成、小ロット多品種生産への移行に取り組むこととした。

■ 取り組みの手法と内容

① 海外展開

平成26～29年度に「高島市地域創生事業」によりインドネシア及びマレーシアの市場調査とテスト販売を実施、以降中小企業庁「JAPANブランド育成事業」、ジェトロ貿易情報センター「地域団体商標海外展開支援事業」を活用することで、東南アジアへの進出を目指した。海外進出には柔軟な発想と行動力が必要であるため、組合役員はバックアップに徹し、若手組合員の2人と組合職員の営業部長による事業推進チームを中心として事業展開に取り組んだ。現在、新たな3ヶ年計画に取り組んでおり、今後3年間で

5,000万円程度の売上を目指している。具体的には、現地デザイナーとコラボレーションした生地の販売と小売業及びエージェン特経由での製品販売であり、初年度にマレーシア、台湾、ベトナム、パリでの取引拡大を目指している。

② 人材育成

当組合は職員の高齢化が進んでおり、今後退職による技術保持ができない可能性があることから、従来の単品大量加工の体制から小ロット対応型に取り組むために旧来の考え方を打破する必要があった。そこで平成29年に地元の安曇川高校の卒業生を5名新規採用し、ジョブローテーションによる技術承継及び多能工化に取り組んだ。今後も継続して若手の新規採用に取り組む、多能工化による生産性の向上を目指している。

■ 成果とその要因

海外展開は、初年度に55反を出荷したが、一時的な珍しさが要因だったため継続取引には至らなかった。2年目以降は現地デザイナー等との連携が進んだことで、生地販売やストールを中心とした継続取引に至っている。人材育成は、地元高校から5名の新規採用が実現し、高島市からも地元雇用の場の拡大に期待されている。

① キーファクター

経営環境の変化や高齢化が背景にあるなか、若手を中心とした柔軟な取組みの必要性を組合役員が認識したことにより、海外進出及び人材育成に繋がっている。

今年もよろしくお願ひします



会員組合からの声 “中小企業ぎふ” 11月25日発行号の アンケートより

【面白かった記事】

- ・クローズアップ企業(有)山下木材
- ・組合紹介(岐阜県窯業原料(協))
- ・組合等の活動(大河にちなんだ特集)
- ・組合事務局キラキラ職員レター
- ・中央会職員コラム・中央会の活動(各テーマ全て)
- ・景況レポート・全国の先進事例

【会報誌の感想・中央会へのご意見】

- ・引き続き講座などを開催・企画してください。
- ・他組合さんもそれぞれの立場で苦労し努力している様子が伝わってきます。また明智光秀についての取り組みなどたくさん取り上げてください。
- ・各業界の話題を楽しみに拝見しています
- ・毎回「組合等の活動」等の記事で、各組合の特色ある取り組みを読んで、組合活動をガンパローという気持ちの励みにしています。
- ・写真や図を増やしてもらおうとよりわかりやすくなる。
- ・毎回、組合事務局キラキラ職員レターの内容が面白い。
- ・景況レポートの数値欄ができたことで読みやすくなりました。
- ・今回は高井さんの笑顔の写真が載っていましたが、中央会の方々に親しみが持てます。
- ・会報誌のパンチ穴が少し小さくないですか?ファイルに閉じるときに、いつも思います。
(→今号より穴を大きくしました!)

飛騨支所移転のお知らせ

飛騨支所は2020年2月1日より下記に移転します。

【新事務所】

〒506-0053
高山市昭和町2丁目100番地10
大久保ビル2階 B号

【電話・FAX(※変更なし)】

電話:0577-34-4300
FAX:0577-36-4220

★読者プレゼントコーナー★

皆様からいただいたご意見を元に、今後も「役立つ」会報誌を目指していきたいと思っておりますので、ふるってご応募ください!

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に下記商品をプレゼントいたします。ご希望の方はアンケートにご回答の上、メール又はFAXにてご応募ください。

岐阜生花市場協同組合

「お花屋さんで使えるフラワーギフト券 (花とみどりのギフト券) (500円券×2枚)」

花きの卸売市場を運営する岐阜生花市場協同組合では、フラワーギフト券(花とみどりのギフト券)を発行しています。

今回は、フラワーギフト券500円券を2枚セット・合計1,000円分を10名様にプレゼントします。県内組合員の店舗でぜひお使いください!
2月は「フラワーバレンタイン」といって、男性が女性にお花を贈る習慣もありますよ!



【アンケート】

タイトルに「会報誌プレゼント(1/25号)」とご記載ください。

- ①お名前 ②住所・電話番号 ③所属組合・企業 ④今号で面白かった記事
⑤中央会へのご意見(会報誌へのご意見や取材のご依頼等もぜひお知らせください)

【応募先】岐阜県中央会 会報誌担当

メール kouhou@chuokai-gifu.or.jp 又は

FAX 058-273-3930

※プレゼントの当選は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

【応募締切】2020年2月7日(金)

個人の総括として、決して良いことづくめであったわけではなく、思い返すと苦い思いが蘇ることもあります。それらを活かし気持ちを新たに職務へ取り組んでいこうと思うところです。

さて、私個人の懸案事項を1つ。3月に加藤家が建ちます。妻からの「庭を考えて」とのミッションを受け、広くもない庭ですが何を植えようか、という点が脳裏を占める割合を高めています。

実用性を考え野菜にすべきか、小洒落た木を植えるべきか。是非、先輩諸兄姉の御助言を賜りたく、「これがいいよ!」というお勧めがあれば是非お教えください!!

職員コラム

中央会職員が交代で
徒然なるままに綴ります。

「徒然なるままに綴る」という趣旨の本コーナー。それも、徒然とはなんだろうと辞書を紐解いてみれば「手持無沙汰」「つくづく」と物思いにふけることとあります。

後者の解釈に立つて思いを巡らせてみたいと思います。

新年を迎える折というものは、これから迎える年に対しての思いを新たにすると共に、過ぎ行く年を公私共に振り返る時であると思えます。かく言う私もこの原稿を書いている12月現在、今年度当初に部署替えにより新しく担当させていただいた青年中央会組合士協会外国人技能実習制度適正化事業などのことや、プライベートであった出来事が頭をよぎると共に、日本で初開催されたラグビーW杯で職場が想定以上に盛り上がったことや、生まれて2回目の元号が変わる時に立ち合ったなあなど取り留めのないことをつらつら思い出したりなどしています。



指導課
加藤 翔一郎



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

個人のお客さま向けの定期預金です。

有利な金利設定
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利
(元本保証)

1年、2年、3年から
期間が選べる

\\ 安心、確実、お得に増やす //

定期預金 **マイハーベスト**

岐阜支店 058(263)9191 〒500-8828 岐阜市若宮町9-16

高山営業所 0577(32)3353 〒506-0025 高山市天満町5-1

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索

人を思う。未来を思う。
商工中金

この広報誌は岐阜県からの助成を受けています。